

安 全 報 告 書

2011年度版

肥薩おれんじ鉄道

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組や安全の実態をまとめたものです。ご意見・感想をお寄せ下さい。

1 利用者はじめ地元の皆さまへ

当社の鉄道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有り難うございます。当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守のもと、安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組や安全の実態について公表するものです。今後とも安全で安心できる鉄道を目指してまいりますので皆さまからの積極的なご意見を頂ければ幸いです。

肥薩おれんじ鉄道株式会社
代表取締役社長 古木 圭介

2 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、役員・社員はじめ鉄道事業に携わる全ての関係者に周知・徹底しております。

- ① 安全の確保は、輸送の生命である。
- ② 規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。
- ④ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- ⑤ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標（2007～2011年度）

区分	項目	内容
定量的な目標	列車事故（衝突・脱線・火災）	5年間、発生させない。
	乗客の死亡事故	乗客の死亡事故を5年間、発生させない。
	踏切の故障に伴う事故	発生件数を5年間で1件以下とする。

(3) 安全目標に対する実績（件数）

年度	2007	2008	2009	2010	2011
列車事故（衝突・脱線・火災）	0	0	0	0	0
乗客の死亡事故	0	0	0	0	0
踏切の故障に伴う事故	0	0	0	0	0

※ 開業以来、列車事故等は発生していません。

3 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

年 度	2007	2008	2009	2010	2011
事故件数	1	3	0	0	1
死傷者	0	2	0	0	0
うち死亡者	0	2	0	0	0

※ 2011年度の鉄道運転事故は、踏切障害事故です。

(2) 災害（地震、暴風雨などによる鉄道施設への被害）

2011年度は、梅雨期において大雨に見舞われたものの、その後、台風等の襲来もなく、鉄道施設への被害は発生しませんでした。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2011年度に発生した輸送障害は表の通りです。

項 目	件 数	特記すべき輸送障害
自然災害など	13	大雨・雷害等により線路点検のために生じたもの。
設備故障など	6	車両、送電設備の不具合によるもの
第三者障害など	0	

(4) インシデント（事故の兆候）

2011年度は、インシデントの発生はありませんでした。

(5) 行政指導等

2011年度、国土交通省による保安監査が実施され以下の行政指導を受けました。

【改善指示事項】

- ① 一部車両において、車両整備実施基準で規定する重要部検査の検査周期が超過していたことを確認した。
よって、検査周期の管理方法を見直し、適切な車両管理を行うこと。
- ② 臨時列車の運行状況を確認したところ、「定期的に運行する列車」に該当するものがあり、届出がされていないことを確認した。
よって、臨時列車の運行を計画する場合には、「定期的に運行する列車」

に該当するか否かを確認し、該当するときは運行計画の届出を行うこと。

【改善勧告事項】

- ① 車両故障の一部において、原因の究明が行われておらず、同様の事象が繰り返し発生していることを確認した。
よって、故障が発生した場合には原因の究明を図り、有効な対策を講ずること。

上記内容の行政指導を受けましたので、指導を受けた項目に対して早急に再発防止対策を図りました。

4 重点安全施策の内容

(1) 重点安全施策

運転士の指導に係わる事項の1つとしてアルコール検知器による検査を、また、睡眠時無呼吸症候群（SAS）に対しては簡易なスクリーニング検査を継続的に実施し、酒気帯び勤務の防止や社員の健康管理に努めました。

一方、工事に対する安全対策として施工会社と共に「災害防止協議会」や「事故防止講習会」を定例的に開催し、施工方法・手順の遵守、保護具の着用等について周知徹底を図り運転事故及び労働災害の防止に取り組みました。

(2) 異常時対応訓練

当社では、安全・安定輸送を第1に異常時対応訓練を実施しています。

2011度も前年度に引き続き、技術部門全系統の社員の参加により、袋駅～米ノ津駅間において信号機故障を想定した訓練を実施し、早期運転再開に向けた知識・技術力の向上に取り組みました。

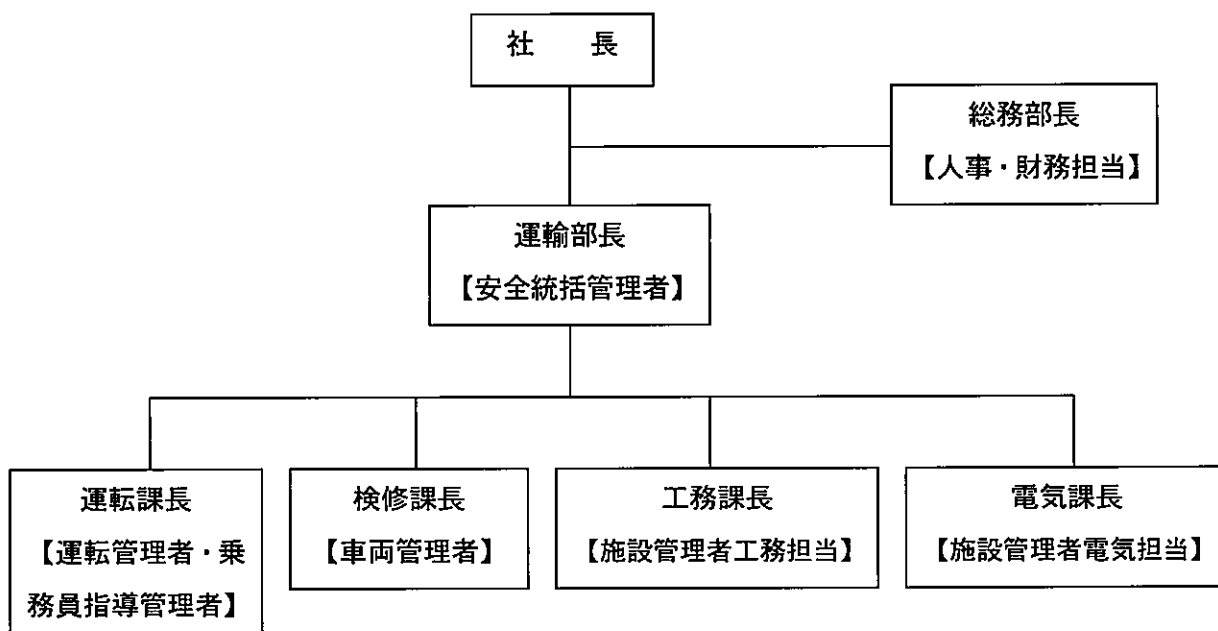
(3) 安全・安定輸送のための設備投資

レール交換やPCマクラギ化、信号機のLED化や踏切保安装置の更新、また、車両設備の更新にも計画的に取り組み、安全・安定輸送の維持・向上を図るとともに乗り心地の向上に取り組みました。

5 安全管理体制

(1) 組織体制

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、各部門の管理者等がそれぞれの責務を明確にした上、安全確保のための役割を担っています。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
運輸部長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転課長 【運転管理者・乗務員指導管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項及び運転士の資質の保持に関する事項を統括する。
検修課長 【車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
工務課長 【施設管理者工務担当】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
電気課長 【施設管理者電気担当】	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項を統括する。
総務部長 【人事・財務担当】	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

6 利用者・地域の皆さまとの連携とお願い

(1) 感電事故防止へのお願い

2011年度、肥薩おれんじ鉄道管内で感電事故が発生しました。このため、鉄道線路を正しく理解していただくよう感電事故防止の啓発チラシを作成して、沿線の小学校や中学校に配布し再発防止に取り組みました。

(2) こども110番の駅

肥薩おれんじ鉄道の有人9駅では、「こども110番の駅」として地域の子供達を守るための取り組みを行っています。

〔主旨〕

- ・ 「こども110番の駅」では、不審者（犯人）から逃れるために逃げ込んできたこどもの安全を確保します。また、犯罪発生時のみでなく、日頃から安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しく、フレンドリーな駅づくりを目指します。
- ・ 「こども110番の駅」のステッカーを見て、こどもが駅に助けを求めにきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行うなどの対応をとります。

7 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組に対するご意見をお寄せ下さい。

肥薩おれんじ鉄道お客さまご案内窓口

TEL. 0965-32-5678 FAX. 0965-32-5411

E-mail master@hs-orange.co.jp

■月～金 9:00～17:30 (祝休日を除く)